

5月19日開催の通常総会議案骨子などを協議

第8回自治協理事会、第3回防災会役員会を開く

自治協理事会と自主防災会役員会を合わせて、3月30日午後6時より開催しました。会議には両会役員 名が参加し、5月19日に開催する両会の総会に提案する議案について協議しました。

自治協と防災会の総会を同時開催

吉川地区自主防災会総会は、昨年の結成総会に続く2回目と

なりませんが、7月の豪雨災害対応・予算等共通する課題が多いことから、同時開催とし、総会を5月19日午後1時より吉川地域センターにおいて開催することとしました。会議では、各部署の事業実績を整理し、31年度に意識する地域課題などを中心に話し合いました。

予算については、31年度も会費徴収はせず、これまで通り、交付金

補助金等で対応可能と判断しました。31年度は役員改選期であり、候補者選考委員会(委員長・寺谷

よしかわだより

平成31年4月1日(31-01)

発行者: 吉川まちづくり自治協議会
☎082-429-1879(吉川地域センター内)
yoshikawajitiky@outlook.jp



【"よしかわ"を説明する村主会長】

高垣市長と語るくわがまちNo.1:ふるさと夢トークスは、3月10日午後2時から八本松地域センターで開催されました。会には

市長と語るくわがまちNo.1ふるさと夢トークス

旧八本松町の川上・八本松・原・吉川の4つの自治協の役員・住民等が参加しました。最初に高垣市長は「合併45年。まちの活力向上を掲げて取り組んでいる。地域の課題思いを聞きたい」と挨拶。続いて各自自治協の会長が①地域の現状や課題②ふるさと自來像を意見発表。吉川自治協を代表し村



【総会に向けての諸準備を確認】

区長)を設置し話し合うこととしました。次回4月27日開催の理事会で総会議案を決定することとしました。会議では、次の案件についても協議し、承認を頂きました。

①マイクロンメモリジヤ・パン社からの当会所有地の一部8㎡を有期限借用の申請、②東広島市災害応急活動交付金の配賦、③平成31年度行事日程、④吉川工業団地公園管理清掃業務の受託、⑤粗大ごみ回収方法の見直し(一部見直し含む)、⑥ふれあい会館管理業務等の移管

吉川地域の現状とありようも説明

主会長は、「①災害への備え、定住者促進、小学校統合計画、高齢化率などの課題への取り組み、②歴史的文化財、アクセス網の利便性、③里山を残し、自然環境と人の営み共存」を吉川地域の意見として発表しました。その後意見交換を行いました。

里山を残し、自然環境と人の営み共存

「里山よしかわを中心に置いたビジョンを話し合う」

農林業部会を開催

農林業部会を、3月2日18時から吉川地域センターで開催しました。会議には、波光幸一部会長、香川昭義副部長、吉川の里山を育てる会、地区生産農区長、農業委員、農地利用最適化推進委員、理事会から計16名が出席しました。

会議の冒頭村主会長は、「里山整備は地域の重要課題。日頃からの関わり感謝する。農地の保全も高齢化の中でままならない状況が生まれつつある。今後の対応が大きなテーマ」と挨拶。

会議では、波光部会長のあいさつ、事務局から理事会決定事項等を周知した後、出席者から取り組みの現状報告がありました。

続いて意見交換では、農地の作付け管理含め高齢化の中で難しくなりつつあること、新規就農者の呼び込み、今後の移住者が非農家となること、里山の維持との調和等が意見提起されました。

会議では、①「里山よしかわの維持」をコンセプトに、「吉川地域での農地・山林のありようを検討するとともに、課題に本気で取り組む体制づくりを部会の活動テーマとすること。②31年度の組織体制及び役員について決めました。



【地域のこれからを話し合う】

開発規制を踏まえて定住・移住策を話し合う 第2回地域活性化PJTを開催

換を行い、吉川からの意見に対し高垣市長は「複式学級があるから統合とは思っていない。定住促進問題は時間スケールの中で検討が必要。IOT・AIの活用もある。豊かな自然環境の中で仕事したい。学びたい。との求めがある。」と述べました。旧八本松町各地域の実状も理解できた会は2時間余りで終了しました。

吉川地域活性化プロジェクトチーム第2回会議を3月14日(木)午後5時から吉川地域センターで開催しました。会議にはPJTメンバー8名が参加し、①よしかわビジョンの検討(どのようなまちづくりを目指すのか、吉川のポテンシャル評価と活用)②住宅地促進策の検討(どのようなすれば住居が持てるのか)、③移住促進策の検討(新たな住民を呼び寄せることができるのか)の3テーマについて意見交換を行いました。次回4月11日は、テーマ別に具体化した話し合いのデータを持ち寄ることとしました。

年度第2回粗大ごみ

可燃物収集を実施

30年度第2回の可燃性粗大ゴミの回収を3月24日、搬出を25日に実施しました。作業には地区役員・理事会役員が立会い手伝いました。分別誤りによる持込物は、持込み者にその場で指摘し、持ち帰るようお願いしました。

タンス備付の鏡等の撤去忘れが散見

結果として、タンスに取



ひとむすびマーケットに参加し、吉川紹介活動

地元大学生グループ「ひとむすび」がプロデュースするマーケットが3月24日市役所北隣の広



場で開催されました。今回は、ハンドメイドマルシェも開催

され、約60店舗が参加。引き続き、吉川自治協議会として参加しました。ふれあいの里による野菜等の販売と吉川小学校保護者の協力を得て吉川小学校紹介を行いました。(今回、中川さん、船橋さん、元谷さん(参加)来場者も多く、立寄られた親子連れとの対話ができました。

MMJ社第2回工事概要説明会を開催

マイクロンメモリジャパ(MMJ)社の増設工事に係る第2回の住民説明会が、3月12日午後6時30分から地域センターで開催されました。説明会には、住民11名、会社関係者8名が参加

県・市主催、土砂災害警戒区域等の指定に係る地元住民・企業説明会

広島県と東広島市が3月19日9時から開催の「土砂災害警戒区域等の指定に係る説明会」に、住民企業から約50人が参加しました。説明会は、平成29年から県が進めてきた吉川小学校区の土砂災害

命を守るための行動に結び付ける。土砂災害警戒区域は、土石流・地滑り・がけ崩れの発生の可能性が高い場所を示しています。出席者からは、今回の提示と合わせ水害・地



4月から始まる鉄骨組み上げで発生する音・照明などの影響についての説明がありました。

し、4月から始まる鉄骨組み上げで発生する音・照明などの影響についての説明がありました。出席者からは、引き続き騒音を監視し必要に対策を講じること、完成後の建物・稼働による住環境への影響などを示すよう求める意見がありました。

最後にMMJ社から、「月刊マイクロン通信で回答するとともに、今後とも節目で住民説明会を開催したい」との説明があり、約1時間の説明会を終えました。



会場での意見交換模様からも、吉川地区自主防災会として、地区における水害等を含めた危険個所の洗出しと避難経路の策定を進める必要があります。

吉川小学校区土砂災害ハザードマップ(3月下旬各戸に配布)に関するご意見等は、吉川自治協事務局にお寄せ下さい。



夜桜見学に備え提灯付け作業を住民有志で実施

3月21日、地区の有志22名が集まり、豊穰池周辺部へ提灯付けを行いました。周辺部の桜はつぼみの状態でしたが、夜桜見物を楽しんでいただける皆さんを思いながら取り付け作業を進めました。

市主催つながり交流会に参加(3月22日)



市内1・25箇所で開催されている通いの場(吉川は吉川げんき塾)60グループから百余名余りが参加した「つながり交流会」は、3月22日市総合福祉センターで開催されました。今回は、広島国際大学の

吉川まちづくり自治協議会…4月予定表

- 4/01:生活困りごとサポート開始
- 4/07:排水路清掃
- 4/11:第2回活性化PJT
- 4/22:住民自治協会長事務局長連絡会(市)
- 4/26:吉川まちづくり女性部総会
- 4/27:第9回理事会(拡大)
- 4/28:ひとむすびマーケット

※(市):市主催行事

吉川げんき塾:4月スケジュール
毎週木曜日10時~11時30分
吉川地域センター

- 4/04:開講式、体操と脳トレ
- 4/11:社協
- 4/18:体操と脳トレ
- 4/25:百歳体操

介護予防・認知症予防に取り組んでいます。どなたでもいつでも参加できます。

よしかわの1枚



吉川地域の名所
豊穰池の桜(3月30日撮影)

ひがしひろしま市民活動情報サイトもご覧ください

<http://higashihiroshima.genki365.net/>